

7月理事会&夏山連絡会 議事録

日時：2022年7月21日(木) 19時～20時40分 於 連盟事務所1階会議室(ZOOM 併用)

事務所出席者：(7クラブ + 常任、手話通訳)13名

ZOOM：(18クラブ + 常任)26名、 委任状：4クラブ

★理事会 進行：高橋

全国連盟関連 (高橋)

第23回全国ハイキング交流集会(別紙)、若手クライミング講習会(別紙)、全国登山研究集会(別紙)、信州の山小屋応援プロジェクト(別紙)、伊藤新道復活プロジェクト(別紙)の資料をご覧ください。

事務局他(提案確認事項) (高橋)

- (1) 事務所使用について(コロナ感染急増につき再確認してください)
入場制限は15名。飲食は禁止を継続します。窓は十分に開けカーテンも開ける(換気のため)カーテンを閉めては意味がない。ドアは入り口入室ともに、あけ放つ。
机配置は二人掛け、一人がけで配置している(千鳥格子状)これを保ってほしい
- (2) 山の会カランクルン労山脱退(7月) 約10人は大阪労山の既存の会に移籍。
理由は労山に所属している意義が見いだせない(脱退届による)
事務局次長である林さんは労山を脱退 役員から解任する。
脱退について数名の方から、カランクルンの仲間と離れることを惜しむ声が出された。

組織部 (浜田)

1. 組織担当者会議 チラシ改訂版 添付参照(労山ニュースに掲載)
 - ・日程：2022年9月8日(木) 午後7時～9時
連盟事務所1F会議室(15人に人数制限)とZoomによるリモートとの併用で会議を行う。
 - ・内容
- ①高齢者のための取り組み等を活発に取り組む2つの会(きたろうHC、八尾山の会)から報告
 - ②兵庫労山で活発に活動している会の報告(兵庫労山組織委員会から)

③参加の各会から、活性化や会員拡大の取り組みの悩みや課題

各会の組織担当者や運営委員（会長・理事・事務局長）等の参加をお願いします。昨年度に会員数が大幅（3名以上）に減少した会、会員の平均年齢が65才以上の会は是非、参加を！

女性委員会（榎本）

7月30日(土)31日(日) 子ども冒険学校への協力 参加予定4名

10月16日(日) 長距離縦走ダイトレの協力 豚汁応援隊員要員 参加予定2名

各会からの登録された女性委員への連絡について長期間参加されていない方への声かけをどうするかを話し合い、女性委員会ページで情報発信していく。

自然保護委員会（澤村）

1. 憲章の実践

7月20日現在 沢村：sawadesu@ares.eonet.ne.jp までお願いします。

・鳥獣・らいちょう目撃レポート

目撃日時、場所、天候と動物の様子をメール下さい。写真があれば最高です。ただし、標高500m以上での目撃に限ります。（ ）：去年

・らいちょう 5件（18件） 鳥獣 6件（13件） 昆虫 0件（1件）

・倒木対策 4件（前期：6件）

ダイトレの登山道で登山者に危険な倒木があり、橋本市へ連絡した。

・下山時にクリーンハイクを 2件（前期：4件）

・定点写真観察活動（山岳自然の異常現象とかゴミ問題など） 3件

2. 署名活動

リニア中央新幹線建設による南アルプスの自然を壊させない静岡県内8市2町：「水、ぶれない一歩も引かない」と確認。 大阪労山・合計：1922筆 全国連盟は17097筆

3. クリーンハイク 6月5日

参加者数497人 回収ごみ量280kg、2019年実績（614人）（561kg）
自治体への報告書、7月15日に各自治体へ郵送した。

4. その他

7/9、10・自然保護講座 滋賀県にて開催 福井県野坂山地の風力発電について

11/12、13・自然保護集会 全国連盟事務所にて開催の予定 講演：元日本環境学会会長
和田武さん（高槻市在住） 「大規模開発による山岳自然の破壊を防ごう」

障登PT（山下）

手話で学ぶ登山初級教室参加実績は以下の通りです。

第3回「リーダーの役割とパーティとは」7月5日 10名参加

第4回「医師と学ぶ応急手当」7月13日 10名参加
秋にレスキューと読図の講習を予定している。

機関誌部 (大西)

印刷・製本19日(火)16時半～連盟事務所、発行21日(木)理事会・夏山連絡会の日
大阪労山HPにも掲載します。とくにこの2年間、ほぼ投稿のなかった専門部の原稿、よろしくお
願いします。大西への問い合わせで大阪労山のHPを閲覧され、大阪労山ニュースを楽しみにされ
ている方が大勢おられるのでよろしくお願い致します。

平和と登山 (大西)

2022年平和行進

1. 日程別参加者

6月30日:13名 /7月1日:1名 /2日:5名 /3日:8名 /4日:5名 /5日:12名/
6日:7名 /7日:10名 合計61名(去年は55名)

2. 参加クラブ

八尾:9名 /安治川:9名 /COWAC:8名 /泉州:6名 /きたろう:5名 /くまごろう:4名
/このはな:3名 /大阪スキー:3名 /高槻:3名 /こもれ/び:2名 /大阪志峰会:2名 /
福島:2名 /豊中:2名 /げんごろう:1名 /ハイジ:1名

3. 3日以上歩かれた方

安倍さん(COWAC)8日間 /笠井さん(八尾)4日間 /入澤さん(安治川)3日間
/麻野さん(大阪スキーHC)3日間

冒険学校 (大見)

7/30-31 吹田市立自然の家(近江今津)。

申込み状況 コロナの感染者が増加のためキャンセルがあり総勢40人になった。

7/8土曜現在 2家族申込み有り(名簿未受領)今週末で締め切ります。

教育遭難対策部 (大見)

1) 事故4件(その後、事故が増えている)

- ・5月8日13時15分；下り坂での捻挫（生駒山）
- ・6月4日11時45分；頂上直下で転倒し手首の骨折（那岐山）
- ・6月19日9時ごろ；石を踏みひねる 右足（首？）の骨折（百丈岩登山道）
- ・7月2日7時頃；下山時に岩でスリップし転倒 擦傷と脱臼

2) 7月2-3日の全国遭対部会議(宮城県)

3) 夏山入山情報は 7/1-8/31 で行う

4) 夏山連絡会

- 日時：7月21日（木）19：30～40 ごろから（19：00 からの理事会終了後）
- 場所：ZOOM によるリモートと連盟事務所（15 人限定）
- 内容： 質問時間を含め約1時間程度を予定している
 - ・「山筋ゴーゴー体操」の解説
 - ・「2021年9月の地震による登山道の破壊」について
 - ・「熱中症対策として、霧吹き応急処置」の実演
 - ・「雷対策として、1点接地避雷姿勢のすすめ」

5) リーダー教育；初級登山学校

(1) 以下の案で進める（別紙）

読図入門を未受講の方は 別途追加座学実技有り

(2) 立ち上げ準備会

日時 2022年6月29日（水） 20:00-21:15

出席 高橋、大西、下窪、佐伯、富永、水口、瀬島、近藤、小西、大見

結論 9月から11月で実技山行3回。間の週にはオプション山行を企画しスキルアップを図る
議論

①登山学校の在り方

- ・山に行きたいと持っている人はいっぱいいる。その人たちのキッカケになる登山学校を
- ・会を盛り上げたいという意欲を持っている人を、登山学校に送り出す予定。
- ・修了目標として、テント泊を自分たちで計画できるというレベル
- ・登山学校の在り方について、下記のような意見が出された。

連れて行ってもらうという考えはダメ。各会の現状として、指導出来るスタッフが不足しており、活動ができていないこのため、やめてしまうという悪循環に陥っている。連盟で学校を作り各会での問題を解決する。中級にはテント泊や縦走をしたこともない人も入ってくることがある。基礎を作る学校が必要。会に新人が入ってくれた。もっと山に行きたいが どういう山

を行けるかがわからない。 目標は、リーダレベルという事にはこだわらないほうが良い。自分たちで登山計画を立てさせてはどうか。 3ヶ月で自分で行けるようなレベルにはできない。空いている土日にオプション山行を計画し、経験を積ませる。 初級は楽しく山に行こうという形では。 会をどうにかしたいという気持ちがないとリーダにはなれない。 少し上（ワンランク アップ）を目指すという形でどのような人、だれでも参加できる形に。 実技を山の教室みたいに選択制にしてみても。 今から立ち上げて9月に間に合うか不安。 とりあえず学校を立ち上げましょう。

②スケジュールと内容

- ・9月～11月の期間、3回テント泊山行
9月百丈岩、10月比良、11月（氷ノ山） 練度によって決定する。ダイトレ(10/16)
- ・入校条件として基礎体力の向上を
- ・時間なく議論できず。
- 6) 初めての雪山教室
 - ・初級冬山に編成替えも検討中
 - ・シニアのための岩登り教室を検討中

長距離縦走委員会（6.28 運営委員会） （高橋）

10/16 開催の方向を確認

連盟の主要行事としての位置づけを明確にする（常任理事会からの訴えを各会に徹底する必要がある） 次回9月に開催

カードホルダー廃止、参加者を確認できるリストバンドに。

コースは例年どおり（20km・30km・40km・後半コース）

救助隊 （大見）

7/9.10 沢搬出訓練 河内長野 光滝寺 千石谷 22人

/9(土) 事前訓練救助隊員 6名 /10(日) 救助隊員 10名 一般労山会員 14名

内容

- 応急手当 三角巾、サムスプリント、弾性包帯
- ロープ担架作成
- 11時～13時半まで 2班にわけてロープ担架によるヘリピックアップ可能地点までの下降搬出。500メートルくらいの距離を6ピッチで搬出。
 - ・1班9人体制で搬出しましたがなかなか沢では9人揃うのは難しいかも知れません。

歩行不可能な要救助者が発生し担架で搬送するには最低でも9名ぐらいいなければ二次災害の可能性大です。一般参加者には搬送の大変さ経験して頂き、まずは怪我をしないということを理解して貰えたのではないのでしょうか。

- ・サムスプと弾性包帯、三角巾の携行誘発

詳細な総括に付きましては沢搬出担当の岡林さんが、間に合えば7/14 労山ニュース締切を目処に仕上げて貰う予定です。

救助隊、今後の予定

- 8月か9月に自主トレ予定
- 10 岩搬出訓練 クライミングの会に呼びかけたい。

以上(文責 浜田)